

2026年7月2日

各 位

会社名 芝浦機械株式会社
代表者名 取締役社長 坂元 繁友
(コード番号 6104 東証プライム)
問合せ先 広報・IR部長 青木 稔
(TEL 03-3509-0444)

南欧市場における射出成形機事業の収益基盤の強化に向けた

SHIBAURA MACHINE EUROPE S. R. L. 合弁会社化の検討開始について

当社は、2026年7月2日付で、南欧市場における射出成形機事業の収益基盤の強化に向け、スマートファクトリー向けの自動化ライン構築支援などを手掛けるイタリアの E. P. F. Elettrotecnica S. r. l. (以下「EPF」) との間で、EPF が営む射出成形機事業の当社の完全子会社である SHIBAURA MACHINE EUROPE S. R. L. (以下「SME」) への統合及び SME の合弁会社化 (以下「本取引」) の検討を開始することを決定し、同日付で覚書 (Memorandum of Understanding、以下「本 MOU」) を締結しましたので、以下のとおりお知らせいたします。なお、本 MOU は今後の協議に向けた基本的な方向性を確認するものであり、今後、合弁会社化に向けた協議を進める予定です。

記

1. 本検討の背景

当社グループは、2026年度を最終年度とする中期経営計画「中計 2026」に基づき、事業ポートフォリオの変革を中心とした各種施策を遂行しており、その施策の1つとして欧州市場開拓の取り組みを強化しています。これまでイタリアを含む南欧市場における射出成形機事業は、SME と、その販売代理店を務める EPF を通じ拡販をしてまいりましたが、近年、顧客からの自動化・省力化のニーズが高まっており、機械装置の単体売りではなく、前後工程を含めた製造ライン全体を販売するシステムエンジニアリングの強化が求められています。このような市場ニーズを受け、現在 EPF が担っている射出成形機の販売・サービス機能は SME が担当し、EPF が自動化ラインの構築支援にリソースを特化するという体制を築くことで、両社の役割分担を明確化し、それぞれの強みを活かした事業展開が可能になると考えています。

2. 本取引の概要

本 MOU では、EPF がその射出成形機事業を SME に移管するとともに、EPF が SME に資本参加することを通じ、SME を、当社と EPF の双方を株主とする合弁会社とすることを企図しています。現時点では、SME は、当社が 60%程度の持分を保有する、イタリアを拠点とする射出成形機の販売・サービス会社となる予定です。EPF は SME の 40%程度の持分を保有することで、引き続き当社と密接に連携しながら、EPF が提供する自動化ラインの構築支援と射出成形機を組み合わせた提案を行うことにより、共同での顧客開拓を進める予定です。

3. 相手企業 (E.P.F. Elettrotecnica S.r.l.) の概要

(1) 名 称	E.P.F. Elettrotecnica S.r.l.
(2) 所 在 地	Via Langhe, 24 - 12061 Carrù (CN) Italy
(3) 代表者の役職・氏名	Franco Filippi (CEO & Chairman)
(4) 事 業 内 容	射出成形機向けターンキー・ソリューションを始めとする工場の自動化ライン構築支援や、関連機器の販売・サービス
(5) 資 本 金	78,520 ユーロ
(6) 設 立 年 月 日	1961年9月1日

4. 日 程

(1) 覚 書 締 結 日	2026年7月2日
(2) 最 終 契 約 締 結 日	2026年後半 (予定)
(3) 本 取 引 実 行 日	2026年末 (予定)

5. 今後の見通し

本MOUは、本取引に向けた基本方針その他の必要事項を取り決めるものであり、実際のEPFによるSMEへの資本参加は最終契約の締結等を経て実施する予定です。今後、当社は本MOUに基づきEPFとの協議を進め、2026年後半に最終契約を締結する予定です。本件が当社の当期業績に与える影響は軽微ですが、今後、本件に関して公表すべき事象が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上